



『大きな～れ』と、自分の苗に水やり



苗を植えるための土作り



一人ずつ地域の店のおじさんから苗を購入

CASE 3
5歳児

自分で育てるんだもん

(幼児の実態)

「前の年の長さんが育てたように自分たちもやってみよう」と、事前の話し合いにも積極的に参加する様子が見られた5歳児。食パンが苦みな子どもが「ピーマンにしよう」「家族みんな合いなから、ミニトマトにしよう」等、保育者や友達と話しながら野菜を決めていきました。帰る苗店、野菜を自分で購入するの練習したり、苗を持っていくための入れ物も自分で作ったたりして、買い物の日を迎えています。

協力園
認定こども園
ひめやま幼稚園

この活動が始まる状況をつくるため、園では四月から、夏野菜に興味に向くように、食堂に掲示してある三大栄養素の表に気付かせたり、絵本の読み聞かせをしたりしています。自分で育てる「苗のお買い物」に向けての準備として、園から種苗店に必要な苗の本数を伝え、苗の代金を子供が自分で支払えるように、予め保護者から集金しておくようにしました。

お買い物の日。年長児全員で、自分の育てたい苗を地域の種苗店へ歩いて買いに行きます。「何の苗がいりですか？」と、おじさん。「パプリカの苗をください。」と、自分の欲しい苗を伝えます。おじさんは「はい。はい。大きくなるから。土に水をやってな。葉っぱじゃなくて根っこが水を吸うから。はいどうぞ！」と、苗を入れて、一人一人に丁寧に接してくれました。

また、苗の種類によっては成長の遅いものもありました。その苗を手渡す時に「今年が天候が悪いから、オクラの苗が小さいんじゃ。今は、小さいけど、大きくなるから。大事に育ててな。」とおじさんは声をかけてくれました。初め小さな苗を見た時はしょんぼりしていたAちゃんでしたが、その言葉を聞くと一瞬にして表情が明るくなりました。

子どもたちは、おじさんが自分のために苗のことを教えてくれたことを自覚し、うなずきながら話を聞き逃さないように一生懸命に聞いています。そして、手作りの入れ物に苗を入れてもらうと、どの子も「ありがたい。」と、お礼を言っていました。
苗を持ち帰ると、事前に本で調べていた野菜の土の作り方を思い出しながら、自分たちで土を配合し、植木鉢に土を入れて苗植えを済ませると、おじさんから言われたように、葉っぱにかけるのではなく土にたっぷり水をやっていました。

苗が大きくなると、自分の育てている野菜の成長を絵に描きました。野菜の育ちを正確に描こうとする子もいれば、願望も交えた想像の実を描き足している子もいました。保育者は子どもたちが自分の苗を大事に育てている実態から、大きくなって欲しいと願う気持ちを理解し、それぞれの表現を認め保育室に展示していました。

夏野菜が実り始めた頃、年少児が自分のミニトマトを摘んでいる場面を直視した年長児がいました。園長先生がその成り行きを見つめていると、「本当は、採ったらいけないので。でも、あげる。」と、優しく接している年長児の姿があったそうです。自分がしてもらったように、年下の子どもにも優しく接し、年長児になった喜びを感じているようでした。

年少児の時に、周りの人から優しくしてもらい安心感をもって生活を過ごしてきたことを、今度は自分が与える立場で生かしています。子どもの生活が幼稚園という小さな社会から地域へと広がっていく活動の中で、どのような育ちを見出せるのかと、夢がふくらみます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
「10の姿」

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

自立心

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちをもつようになり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に関わる中で、遊びや生活に必要な情報に基づき判断したり、情報を伝える合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

社会生活との関わりを育む
環境構成のポイント

- 自分で育てたい野菜を決める話し合いの場をもつ。また、事前に店主と打合せ、子どもが自分で苗を買う体験に繋げる。
- 絵本や図鑑、店で聞いたことなど、必要な情報を取り入れられるようにする。土作りからすることで、愛着をもって世話をし、実を付ける満足感を味わわせるようにしていく。
- 気付きや驚きを絵で表現したり、友達や保育者、年下の友達に伝えたりしながら、育てている苗への関心を高めていく。

事例から見られる10の育ち
自立心

自分たちが主として育てている野菜を育てることに興味を持ち、自分で決めることができるようになる。自分の意見や気持ちを伝えることができるようになる。友達や保育者と協力して活動することができるようになる。自分の役割をしっかりと果たすことができるようになる。自分で決めたことを最後までやり遂げることができるようになる。

事例から見られる10の育ち
社会生活との関わり

地域の種苗店へ歩いて買いに行き、おじさんや友達と話し合いながら苗を選ぶことができるようになる。おじさんや友達と協力して活動することができるようになる。自分の役割をしっかりと果たすことができるようになる。自分で決めたことを最後までやり遂げることができるようになる。